

消費税増税は市民生活に大打撃

能力に応じた負担の税制を実現させましょう

民自公3党談合により、消費税増税法が可決されました。

5%から10%一気に倍にする増税は、総額13.5兆円。国民一人当たり、単純計算で10万円になります。消費税は低所得者ほど負担が重くなる不公平税制です。増税が実施されるまでに行われる2回の国政選挙で増税勢力に増税ノーの審判を下さなければなりません。

価格に転嫁できない消費税は 市内中小業者に大負担

価格に転嫁できないことが消費税の大きな問題点です。転嫁できなくても業者は消費税を納めなくてはなりません。3%から5%に増税されたときも多くの中企業が倒産しました。5%から10%になれば、大打撃です。さらに下請けになれば、消費税分を請負のときに「協力金」という名目で負担させられることが常態化しています。私は市内業者を守るために消費税増税に反対するよう市長に

求めました。市長は消費税増税には賛成と明言。反対の意見書を採択した自治体もあります。「消費税増税ノー」の声を入間市からも上げて行きましょう。

教育長も認めた

「今の暑さは限界を超えている」

これまで何回も取り上げてきた学校のエアコン問題。開校日に教室の最高温度が、35度以上になる学校が20校以上です。教育長に普通教室へのエアコンの設置を求めると「暑さが限界を超えていると認識している。改善が必要」と答えました。



小出わたるの連絡先 どんなことでもお気軽にどうぞ

住所 〒358-0053 入間市仏子1170-4
電話 04(2932)7884
携帯 090(6542)3883

日本共産党 小出わたるの 市議会つうしん



●近況・活動・第3回定例議会の報告

No. 15
2012年11月

- ◇子どもがすこやかに育つ市政に
- ◇消費税増税をやめさせるために
- ◇全ての普通教室にエアコン設置を

安心して学校に通えるように

子育てがしやすい市政実現に力を合わせましょう

猛暑の夏が過ぎて、朝晩は肌寒さを覚える今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。

私は、寝苦しかった夏から解放されよかったと思う反面、春眠ならず、「秋眠暁を覚えず」となり、暑さから解放された秋の朝の眠りが心地よすぎてやや苦勞をしています。

エアコンのある教室は 子どもたちに大人気

駅頭宣伝後などにすれ違う小学生の顔が明るくなっているのがわかります。暑さから解放されて、元気になっているのでしょう。

さて、先日の福祉教育常任委員

会の23年度決算審査の中で、狭山小学校、西武小学校の新築された校舎を見学しました。新しい校舎にはエアコンが設置されていました。ほかのほとんどの教室には設置されていないため公平にエアコンを使えるように、教室をローテーションするなど先生方が苦勞されているとのことでした。

部屋の中においても熱中症になってしまう昨今の酷暑の中、エアコンがある教室とない教室では大変な違いがあるでしょう。

全教室へのエアコン設置は急務であると考えます。私は、今議会でもエアコン設置を求めました。

1500人あまりの陳情・請願

第3回定例議会

給食放射能検査の願い趣旨採択に

市から提出された議案のうち、共産党は「西部消防組合の設立に伴う関係条例の整理に関する条例」のみに反対しました。

消防広域化は、藤沢分署のはしご車が削減されるなど地域の消防力を低下させるとともに入間市の財政負担が増加することが明らかになっています。

給食検査の充実で安全を

今議会には、「入間市の学校給食を放射能から守るための施策に関する請願」が提出され、同趣旨の陳情書も「子どもを守る会いるま」から1500人余りの署名を添えて提出されました。

学校給食センターで調理される中学校



学校給食センター

一週間分をまとめて放射能検査している給食センターの給食と同じように、自校給食でも検査の充実が求められる。

の給食は、一週間分を、県の調査機関に委託して週に一度調べていますが、自校給食式の小学校では一食材の検査にとどまっています。こうした状況に市内の保護者から、学校給食の検査の充実を求める声が高まっています。この声を反映して「学校給食をもっとしっかり検査して欲しい」等の項目を掲げた請願です。

共産党からは石田よしお議員、吉沢かつら議員が紹介議員となり、福祉教育常任委員会で審議されました。

共産党は請願採択を主張

この請願に対し、保守系クラブが、「現状の調査で安全性は確保されている」

との立場から、実効性を弱める趣旨採択を提案しました。

共産党市議団は、市民の要望に応え、安道よしこ議員が請願に賛成の討論を行い、採択に力を尽くしました。しかし、他党派は請願採択に反対し趣旨採択にしました。

共産党市議団は、これまでも子どもの食の安全を確保する立場から、給食食材の放射能検査の充実を議会で求めてきました。

今後も市民と協力し、子どもの健康を守るため給食検査の充実を求めます。



共産党市議団が市民の声を積極的に提案

墜落事故を繰り返しているオスプレイの配備で、横田基地空域にある入間市が危険に。「オスプレイ配備反対の意見書」を提案しましたが、全会派の合意は得られませんでした。

市民要望の強い「子ども医療費(通院)の中学卒業までの無料化促進を求める決議」も提案。保守系会派の賛成は得られたものの、公明党とみらい市民クラブの反対で決議の提案は実現しませんでした。

決算審査意見に10項目提案し採択

- ・河川の放射能汚染調査結果もHP公表
- ・清掃デー不参加者への負担金廃止を
- ・道路整備は市民要望に応え予算措置を
- ・昭和56年以前の木造住宅耐震化の実施
- ・武蔵藤沢駅ロータリーの渋滞対策を
- ・子ども医療費は通院も中卒まで無料に
- ・夜間診療所は開所時間の拡大を
- ・教室にエアコン設置・少人数学級実現
- ・地域包括支援センターの職員増員を

消費増税なしで別の道

日本共産党は消費税増税に反対するだけでなく、別の道で財源を確保する具体的な対案を示しています。

不要不急の大型公共事業の見直し、米軍への「思いやり」予算や政党助成金の廃止など聖域のないムダ削減で3.5兆円、お金をため込んでいる大企業や富裕層への増税で8~11兆円を確保することができます。

増税実施までの1年半の間に行われる総選挙、参議院選挙で国民が「増税ノー」の審判を下せば増税をやめさせることができます。国民の世論と力で消費税をストップさせましょう。

共産党議員の一般質問

石田よしお議員

核廃絶署名、戦後の近隣飛行機事故

小出わたる議員

消費税増税反対、教室にエアコンを

安道よし子議員

少人数学級実現、放射能検査機器整備

吉沢かつら議員

子どもの権利条例制定、磁気ループ

日本共産党市議会報告

2012年11月

発行/日本共産党入間市議会議員団
連絡先/電話2932-4415 Fax2932-5632

石田よしお 2964-4048 070(5086)2075

安道よし子 2962-8082 090(4811)0553

吉沢かつら 2964-0208 090(3514)3077

小出わたる 2932-7884 090(6542)3883